

令和8年度の主な施策は次のとおりです

※文字に色がついている事業は、国や県の補助金・交付金を活用したものと



1. 産業の再興と雇用基盤の強化

・持続可能な観光推進事業	680 万円
・新規ビジネスの立上げ支援（地域経済循環創造事業）	6900 万円
・小豆郡雇用モデル推進事業	1070 万円
・寒霞渓魅力向上への取り組み	645 万円
・オリーブトップワンプロジェクト推進事業	725 万円
・有害鳥獣対策事業	4857 万円
・猪谷池の防災対策改修	3670 万円
・小豆島ふるさと村再整備事業	410 万円
・企業誘致促進事業	650 万円

2. 公共交通の確保と港の再整備

・池田港の再整備	1 億 1638 万円
・町営バス寒霞渓線の運行	4380 万円
・オリーブバス車両購入の補助	2707 万円
・小豆島中央高校通学支援事業	750 万円
・港湾施設水門等の整備	3900 万円

3. 教育施設の再編による教育・子育て環境の充実

・内海地区統合小学校の整備	33 億 7607 万円
・内海地区小学校閉校記念行事開催補助	310 万円
・保育料・幼保給食費の無償化	2887 万円
・小・中学校の給食費無償化	4756 万円
・英語教育の推進	2246 万円
・GIGAスクール構想推進事業	5807 万円
・こども家庭センターの設置運営	1107 万円
・セミオープンシステムによる出産費用の補助	198 万円
・妊婦のための支援給付金の支給	1300 万円

4. 集落活性と空き家活用

・池田地区更新住宅等整備事業（解体・設計）	7134 万円
・若者の住宅取得支援	1600 万円
・空き家資源の活用	1547 万円
・空き家バンクの登録促進	400 万円
・老朽危険空き家等の除却支援	6600 万円
・公営住宅の省エネ・長寿命化	7118 万円
・町営住宅等管理適正化事業	989 万円

5. 安全・安心施策の推進

・津波・洪水ハザードマップの整備	1000 万円
・民間住宅耐震診断・改修助成	890 万円
・外出困難者への支援	133 万円
・小豆島中央病院の運営支援	2 億 7711 万円
・道路橋梁維持管理・改良	5 億 122 万円
・内海地区雨水公共下水道整備事業	1 億 3400 万円

「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指して
令和8年度
136億6900万円
当初予算は
になりました

今年度の当初予算は、前年度に比べて、7億4200万円（5.7%）増の136億6900万円となっています。

今月号では、「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指す施策として5つの柱を中心に予算を紹介します。先月号の令和8年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけると幸いです。

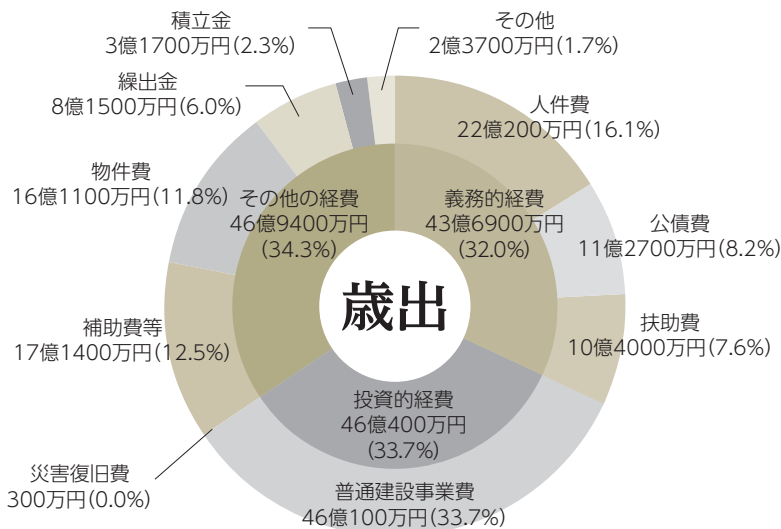
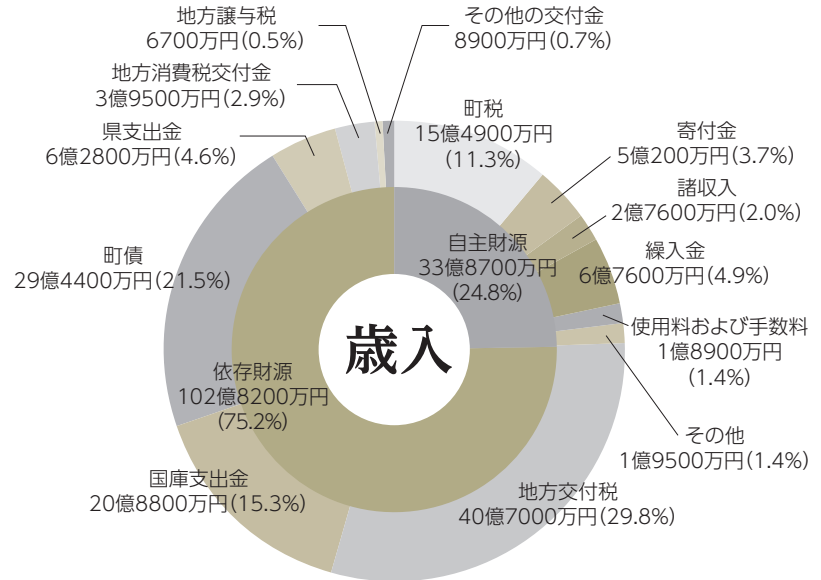
歳入と歳出の内訳は次のとおりです



—歳入をしてみましょう—

歳入の中で1番大きな額となっている「地方交付税」は、どの地域にいても一定の行政サービスが受けられるよう、各自治体の財政状況に応じて国から配分されるものです。

配分額は、各種データに基づき算定されますが、皆さんに5年に1度回答いただいている国勢調査の結果（人口、世帯数等）も算定材料のひとつです。



—歳出をしてみましょう—

右のページの「内海地区統合小学校の整備 (33億7607万円)」は歳出グラフの「普通建設事業費」に含まれます。

内海小学校の令和9年4月開校を目指して、新小学校を建設する校舎建築工事費や通学路の整備をするための予算となっています。



※ 100万円未満は四捨五入しているため、合計が合わない部分があります。

私たち1人あたりに使われる金額はいくら？



私たち1人あたりに使われる金額は111万2838円で、そのうち町が賄える金額は27万5747円です。
※まちの人口1万2283人(4月1日現在)と自主財源の数値から算出しています。

問い合わせ先 企画財政課 ☎ 82-7000